

3月予算議会

2月18日～3月25日

岡田重美議員、代表質問で願い実現迫る
2月27日 本会議

■国政の焦点と市民のいのち・暮らしに関わる問題
■「4年で結果を出す」とした岩永市政の評価と課題
■新年度予算案について市長に質す

岡田議員の代表質問要旨です。

国政の焦点と市民のいのち・暮らしに関わる8項目について市長の所見を

安倍政権による国民いじめの政治は、市民の暮らし、地方政治に大きな影響を与えており、それだけに、地方自治体の役割が問われています。

こうした立場から、政治のあり方、消費税増税の影響と市民の暮らし、原発0をめざすことや再生可能エネルギーへの転換、平和の問題では、核兵器禁止条約の批准や憲法9条改憲反対の立場を貫くことを求めました。

農業問題では、家族農業・小規模農業の再生・発展に向けて積極的な支援を求め、生活保護問題では、保護基準の引き上げ、強権的な保護の打ち切りを推進することのないよう求めました。

気候変動について、異常気象に伴う防災・減災対策は、これまでの延長線上ではない抜本的な対策を求めました。

「4年で結果を出す」とした岩永市政4年の評価と課題

市民対話を基本に置いて進めるとの立場は大事な視点。しかし、この間進められた、まちづくりコアステーション「まるーむ」、旧甲賀病院跡地の利活用、現在整備中の甲賀北工業団地などでは、住民の声を聞くという姿勢は見受けられません。これらのことは、「真摯に耳を傾ける、市民目線を大切に事業を進める」という市長の姿勢と矛盾するものではないかと質しました。

また、市長公約の、「子育て・教育」、「地域経済」、「福祉・介護」の3つの分野や、「10万人都市を目指す」とした人口減少対策、公共施設整備、安心安全のまちづくりについて現状と課題を質しました。

新年度予算に10項目の重点要望の実現を。

- ①従来の延長線上ではなく、抜本的な防災・減災対策
- ②小中学校の給食費の負担軽減

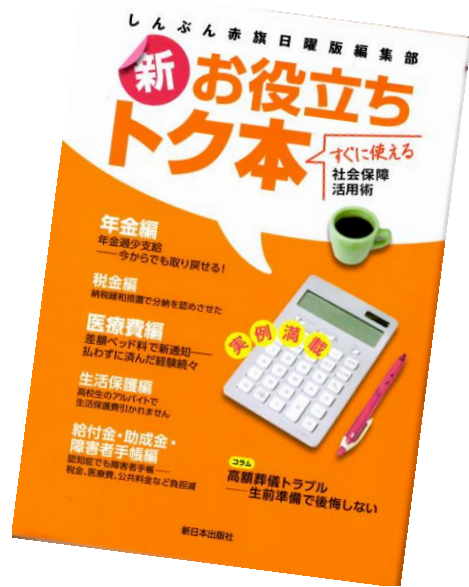


- 減・無償化
- ③中学卒業までの医療費の完全無料化を段階的に具体化
- ④広島平和記念事業への子どもの参加の拡大
- ⑤「住宅リフォーム助成制度」は減額でなく拡充
- ⑥観光予算の見直し
- ⑦特別養護老人ホームは市の責任で整備を進めるべき
- ⑧土山での乳幼児健診の再開
- ⑨子ども対象のインフルエンザ予防ワクチン接種への補助
- ⑩加齢に伴う難聴のための補聴器購入費用の市独自の補助

役にたつ赤旗日曜版

すぐに使える活用術が本に

毎週の赤旗日曜版で大好評の「お役立ちトク報」が一冊の本にまとめられています。新日本出版社税別1200円。年金、税金、医療費。生活保護、給付金・助成金・障がい者手帳編に分類され社会保障活用術です。赤旗日曜版の記事を見て、払う必要のない「差額ベッド」代金約15万円が返還された甲賀市内の例もあります。また、毎週の料理欄も好評です。



■議会日程

3月 2日(月) 本会議・議案質疑 3月3日(火)～5日(木) 一般質問
3月25日(水) 本会議・委員長報告、討論、採決 傍聴にお越しくください。

佐藤こうへいさん励ますつどい

日本共産党の佐藤こうへい衆院滋賀3区国政対策委員長を励ます集いが24日、守山市で開かれました。(写真)佐藤氏は「市民と野党の共闘をさらにバージョンアップさせて安倍政権に代わる新しい政治。未来に希望が持てる政治をぜひ、ご一緒につくっていきましょう」と呼びかけました。

日本共産党の清水ただし衆院議員(衆院近畿比例候補)、野党統一の嘉田由紀子参院議員が国会報告。京都市長選(2日投票)で候補者として大健闘した「つなぐ京都2020」の福山和人弁護士がゲストとしてスピーチしました。

日本共産党
甲賀市議員団ニュース
2020年 3月 1日 第298号



山岡 光広
甲南町森尻 16
TEL 86-2985
Fax 86-0415



小西喜代次
信楽町勅旨 456
TEL 83-0765
Fax 83-0765



岡田 重美
土山町南土山甲 78-15
TEL 66-0696
Fax 66-0696